



▲懸命に練習に取り組む劇団員、その積み重ねによりミュージカル作品が作り上げられています。
▶旗揚げ公演は、亀山ゆかりの古代の英雄「ヤマトタケル」を題材に、歌・芝居・ダンスと見どころ満載です。



演じることの楽しさ、知ってもらいたい

カメ ミュ〜
亀山ミュージカル劇団“KAME μ”

『観客の心を動かしたい!』を強く願い、舞台上で歌・芝居・ダンスの練習に励むのは、昨年8月に結成された、亀山ミュージカル劇団“KAME μ”の皆さん。亀山で立ち上げられた市民ミュージカル劇団で、市内外から、4歳から60歳代までの約45人で構成しています。2月7日(日)には、市文化会館大ホールで旗揚げ公演「古代浪漫ミュージカルTAKERU」が迫っており、練習にも熱が入ります。

一どのような劇団ですか？

「これまでも公募型の市民ミュージカルは実施されてきましたが、知識と経験を蓄積し、団体・個々ともに継続して成長をしていくために劇団を結成しました。そして、亀山市に演劇という文化が根付くことを願い活動しています。現在は、

旗揚げ公演に向けて劇団員一丸となって練習に励んでいます。」

一劇団の雰囲気は？

「練習中はピンと空気が張り詰め、真剣そのものです。また、演技内容に納得がいかない場合は、個人やグループで自主的に練習するなど、本気でミュージカルに向かっています。けれども、練習が終われば、何気ない話で笑いあったりと、楽しい時間を過ごしています。」

一これからは？

「地域の施設や学校など、身近な場所でもミュージカルを公演したいです。多くの人に見てもらい、その楽しさを感じてもらいたいです。そして、ミュージカルの世界に夢を持ち、チャレンジしてみたいという仲間が増えたら良いと思います。」

亀山市文化大使の小嶋希恵さん(元宝塚歌劇団雪組)に、「KAME μ」についてお聞きしました。

演技指導などに携わるなか、劇団員の舞台への“情熱”がとても感じられました。皆さんにそんな彼らの姿を見てもらいたいのと、プロがない市民劇団、ちょっとした失敗は笑っていただいて、帰る時に「楽しかった」と感じてもらえたら嬉しいです。一方で劇団員は、大変で苦しいけれど「やって良かった」と思える劇団を作っていってほしいです。また機会があれば、亀山や三重の歴史人を題材にした作品を、一緒に手掛けることができると願っています。



演技指導する小嶋さん



図書館の本棚から

市立図書館
(☎82-0542)



『ラジオ問はず語り』

佐藤康人／著

万来舎 (2015年7月刊)

FMラジオ番組「ジェットストリーム」のディレクターが、エピソード満載で綴る、制作現場の悲喜こもごも。人気長寿番組がどうやって生まれたのか？パソコンやファックスもない時代に創意工夫を重ねた仕事ぶりは、興味深い。



『世界中の青空をあつめて』

中村航／著

キノブックス (2015年10月刊)

「世界中の青空を全部東京にもってきてしまったような素晴らしい秋日和であります」、この名調子で開幕した1964年東京五輪。当時、ある約束をした若者も今は老人に！そして2020年TOKYOを前に、彼らの孫たちがその約束を果たそうと動き出す。

～新着だより～

小説

- 光のない海／白石一文
- ブルーアウト／鈴木光司
- ズッコケ熟年三人組／那須正幹まさもと
- 消滅世界／村田沙耶香
- 健脚商売／伊勢華子

児童

- キナコ／いとうみく
- ねこだらけ／あきびんご
- わくわくぱっちり！入学じゅんぴ
- チャレンジ百科／白岩等
- ハルト歩いた／西田俊也

その他

- カメカメカメラ／もろかおり
- 二菜ごはん／浜内千波
- 日本おもてなし鉄道／日経デザイン
- 図解正しい家計術／ゆりもとひろみ
- 絵手紙の円空仏／桜井幸子
- 女子のチカラ／米澤泉

ほか432冊